

首都圏段戸会

若々しい段戸会を



会長
稻葉 誠治

(中37回)



参加者全員による校歌斎唱

今年も段戸会開催の季節がやつて参りました。昨年は、第二十回という記念すべき年でした。今から更に若々しく且つ楽しい会にすべく、気分を一新して一步一歩着実に歩んで行かねばならないと考えております。

葬儀の日、私は風邪のため寝込んでおり遠方よりご冥福をお祈り申し上げました。

私は中学時代、主に野球部の監督として指導を受けました。大声で叱咤激励する方ではありませんがオソガイ存在でした。太田前会長がお亡くなりになつて会長不在になつたとき、先生は私を呼んで『君、会長をやれよ』といとも簡単に仰しやる。私は即座に固辞しました。私が会長なんて全くおこが

さて、ここで誠に残念なお話を申し上げなければなりません。本会の名誉会長でありました北岡健二先生が、昨年十二月に突然お亡くなりになりました。急なことで非常なショックを受けました。ご

葬儀の日、私は風邪のため寝込んでおり遠方よりご冥福をお祈り申し上げました。

私は中学時代、主に野球部の監督として指導を受けました。大声で叱咤激励する方ではありませんがオソガイ存在でした。太田前会長がお亡くなりになつて会長不在になつたとき、先生は私を呼んで『君、会長をやれよ』といとも簡単に仰しやる。私は即座に固辞しました。私が会

それにも、幹事の方々がお忙しい時間を割いて、たびたび打合を開き、意欲的に意見を闘かわせている様子を拝見し、裏方のご努力に限りなく感謝の念を抱いている次第です。

間もなく、お元気な会員の皆様にお眼にかかるのが、今から楽しみです。

さて、ここで誠に残念なお話を申し上げなければなりません。本会の名譽会長でありました北岡健二先生が、昨年十二月に突然お亡くなりになりました。急なことで非常なショックを受けました。ご

葬儀の日、私は風邪のため寝込んでおり遠方よりご冥福をお祈り申し上げました。

私は中学時代、主に野球部の監督として指導を受けました。大声で叱咤激励する方ではありませんがオソガイ存在でした。太田前会長がお亡くなりになつて会長不在になつたとき、先生は私を呼んで『君、会長をやれよ』といとも簡単に仰しやる。私は即座に固辞しました。私が会

平成5年10月
第4号

ましい話だからです。折悪しくその席に、本部の岩瀬前会長が居られて、結局二人に押し切られてしましました。

今頃になって何故こんな話を持ち出すかと申しますと、六月の準備幹事会で、段戸会もこんなに大きくなつたのだから会則が無いのはおかしい、という意見が出されました。なるほど一理あります

一方、無かつたからといって、いまで不都合なことはなかつた。

段戸会は懇親の場であり、格式ばつたものは必要なからう。和気藹しみです。

さて、ソフツトに運営されていくのが望ましい姿ではなかろうか――この意見が大勢を決しました。

調の内に、ソフツトに運営されていくのが望ましい姿ではなかろうか――この意見が大勢を決しました。

要するに、会長決定の経緯も前述の通り極めて簡単、容易なことが全て良しとは判断できかねますが、まあ当会の良しとするところと、不用論に私も賛成でした。

ところがよく考えてみると、困るのは私自身と気付いたのです。会則があれば、当然会長の任期も決まる。死ぬまでが任期とは、余りに哀れである。時恰かも、諸事の若い世代への交替は世の常識、敢えて老兵の胸中を述べた次第です。

さて最後に、若い同窓の方々に再び申し上げたいと存じますが、段戸会は決して固苦しいものではありません。先輩後輩などあつて無きが如しです。自分達の時代の母校を語り、その後の母校の話を聞く、これが段戸会だと思って下さい。若々しく且つ楽しい会に、会員全員で育てて行きたいと思

第一十一回首都圏段戸会開催について(ご案内)
平成五年度の首都圏段戸会を左記の通り開催いたします。
今年も例年のように校長先生・教頭先生ならびに同窓会長をお迎えするほか、三名の恩師をお招きいたしますので、多数の方々のご出席をお待ち申し上げております。

なお、準備の都合上、ご出欠を十一月五日までに、同封のハガキにてご返報下さるようお願い申し上げます。

日 時 平成5年11月10日(土) 十三時～十五時三十分
場 所 東京郵便貯金会館
電 話 ○三(三四二二) 七二一
地下鉄 都営三田線芝公園下車 徒歩五分
都営浅草線大門下車 徒歩八分
J R 浜松町下車 徒歩十分

会 費 男子 八、〇〇〇円
女子 六、〇〇〇円

招聘恩師(五十音順)
● 岩城 浩先生 (歴史) ● 竹村達雄先生 (化学)
● 松村皆帰先生 (数学)
問合せ先
岡崎市東京事務所内 首都圏段戸会事務局
電 話 ○三(三五八一) 〇三六七

運営基金協力のお願い

例年、本会の運営基金としてご寄付をお願いしておりますが、平成四年度は四ページの会計報告通り、多額の基金が集まりました。これもひとえに会員の皆様のご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。

会の円滑な運営を図るため、本年度も「一口壱千円以上」のご寄付を仰ぎたく、なにとぞご協力のほどお願い申し上げます。

なお、払い込みについては、同封の振替用紙か当日受付にご持参頂ければ幸いです。

活字から映像

近藤 穎三（高1回）

疲労のピークは、土曜日の深夜で、時によつては放送当日の昼夜ぎまでぶつ続けの作業。不精ヒゲに真つ赤な目をしたスタッフが右往左往している。

そして、日曜日の夕方から戦場

毎週日曜日、午後6時30分から日本テレビで放送している「独占スポーツ情報」の番組制作に携わつて、4年余になる。

たかだか30分の番組だが、結構手間がかかる。原則として休みは月曜日だけ。火曜日から土曜日まではロケやら編集やらで、ディレクター連中は気の休まる時などない。ディレクターの卵であるAD（アシスタント・ディレクター）はロケの交通、宿泊を予約したり、ディレクターの指示に従つて資料テープをテレビ局で搜したりと、過酷な労働が続く。



長嶋監督を迎えての独占スポーツ情報

川合はとにかくノッポ。プレイボーイとの評判が専らだが、若くて甘いマスクとくれば当然かも知れない。それにはスポーツ界だけでなく、芸能界にも顔が広い。ただし、社会的な面、つまり硬派関係に弱いのが、私には不

以前の会社（中日新聞）では時間単位の仕事だった。活字と映像の違いは、まずタイムの差。新聞記者時代は取材し、原稿にしてカメラマンが撮影した写真を添えて出せば、あとは他のセクションが紙面作りまで進めてくれる。

テレビは、取材する前にディレクターと構成作家が話し合い、狙いや撮影する映像を大ざっぱに決めて、作業を進めていく。これが、

並みの雰囲気に包まれる。メーンキャスターが加わって、放送内容などの打ち合わせ。キャスターは

局アナ関谷亜矢子と、かつてバレーボール全日本代表選手として鳴らした川合俊一。

関谷は20代後半（最近なら適齢期の範囲）。

丸顔の美人で、英語ペラペラ。彼女なくして番組が進行しないという実力派でもある。

以前の会社（中日新聞）では時間単位の仕事だった。活字と映像の違いは、まずタイムの差。新聞記者時代は取材し、原稿にしてカメラマンが撮影した写真を添えて出せば、あとは他のセクションが紙面作りまで進めてくれる。

テレビは、取材する前にディレクターと構成作家が話し合い、狙いや撮影する映像を大ざっぱに決めて、作業を進めていく。これが、

満。「今後のためにも、政治や経済の勉強」と川合にアドバイスをしている。

始まる。緊張の30分は「お疲れさん」の声で終了。思いがけないトラブルがいるのだから、一糸乱れない放送など不可能である。

これは放送後の反省会議で厳しくチエックする。詳しい説明は省略すれば、とにかく40人ものスタッフがいるのだから、一糸乱れない放送など不可能である。

さも知ったかぶりの私が、放送当日はスーパー・ディレクター（映像に入れる字の発注担当）。それより番組の予算や経費の管理が主な役割。「そこが知りたい」（TBS）「スーパートビ情報最前線」（NTV）などの制作をしている中小プロダクションとしては、原価率が命である。少しでも稼ぎたい一心で、好きなゴルフを月イチ、いやそれ以下にしながら頑張っている次第。

さも知ったかぶりの私が、放送当日はスーパー・ディレクター（映像に入れる字の発注担当）。それより番組の予算や経費の管理が主な役割。「そこが知りたい」（TBS）「スーパートビ情報最前線」（NTV）などの制作をしている中小プロダクションとしては、原価率が命である。少しでも稼ぎたい一心で、好きなゴルフを月イチ、いやそれ以下にしながら頑張っている次第。

老梅の一コマ

戸効 茂夫

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

く。共通の話題は校庭の樹木であ

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

恩師のたより



老梅の一コマ

戸効 茂夫

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

く。共通の話題は校庭の樹木であ

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

り、教師であり、時には校舎の隅に刻まれた落書きであつたりする。戦前戦後を通して同一校地を占めた建物こそがわつたが、諸兄姉のころのふるさとであることは、ご同慶にたえない。

私は縁あって、岡高に二十年近く勤めさせて頂いた。その間同僚に恵まれ、生徒に恵まれて、思い

て丁寧に掘り上げ、運動場に面する国旗掲揚塔の近くへ移してもら

った。

夏休み中だつたが、関心のある生徒数名と一緒に、灌水は怠らなかつた。強



今年も見事な花咲かせた老梅

い日照を葦簾でさえぎり、灌水するのも日中をさける様に努力した。

しかし、秋までには二、三の芽がふくらんだかと思える程度で冬を

会員のたより

空間の不思議 時間の妙

天野 彰(高14回)

最初に手がけた住宅がもうじき三十年になります。ところは大分先輩の手伝いでした、私の建築との本当の出会いはここから始まります。

建築を志す人はなんらかの出会いやきっかけがあります。私もまた姉がバレエ教室をやっていたのでその発表会ごとの背景づくりの手伝いが縁です。いわゆる舞台美術ですが音楽と舞台の展開、空間の転換の妙に青春の心をおいに感動させたものです。

二十歳で家を設計!私は幸運に

も早すぎるほどのチャンスを得たのです。あの劇的な舞台空間と同じように今から本物の家族の生のドラマが始まる…そんな夢のような初仕事の感動に浸っていたのです。

が、現実は意外な方向に展開します。あろうことかこの家が完成し、竣工撮影の前夜猛烈な台風で屋根が吹き飛ばされてしまったのです。私は割れ落ちるガラスを浴びながら、まるで巨人にでも持ち上げられるかのように吹き上がる屋根をこの目で見たのです。

皮肉にも翌朝はまさに台風一過の撮影よりながら、リビングは青天井。遅れて駆け付けた先輩と壊れ方が単純な力学でなく風の振動で徐々に破断した近代建築のもうひと、家族の恐怖におののく姿を目のあたりで見ていた私と、激しい言い争いになつたのです。

迎えた。寒中は薦で包んで春を待つた。

待遠しかつた翌春、緑の枝が數十センチ伸びてほつとした。今はおそらく、枝振りを調えていること

と思つ。因みに岡高九十年誌に『岡中時代の名残りは、正門、老梅を除き全て消える』と記されています。

同窓の皆様の中には、古い木造

以来私はその場に残り「復旧工事」を手始めに大小数十軒の建築作品を残すことになるのです。東京でも白井市出身の東芝の社長宅や北里病院の院長の家などがあります。幸か不幸か?これが縁で家

内も同市出身で今や第二の故郷となつてゐるのです。

「災い転じて福となす」とおり、あの得難い運命の体験は私に建築はデザインではなく、構造や心理

学や生理学あるいは経済学を初めて

とした、究めて幅が広く奥の深い学問であることを教えてくれました。お蔭で卒業と同時に『安心と安全そして廉価』をテーマに設計事務所を開設。以来二十七年間、作品は全國に六〇〇軒を数えるに至りました。地元岡崎

のすべてのきっかけは、あの青春時代にあつたのです。あれから三十数年:今無性にあの頃が懐かしく思われるのはそのせいなのです。

あの高校時代の教室が、友に囲まれたあの空間がなぜか今身近かに感じられるのです。長すぎるほど長い時を越えて、ふっと戻れるのです。その間の色々な現実や社会的な立場も気にせず、瞬間にして「おいおまえ」になれるのです。まさに時間を越えて友と、いやわが青春時代と空間は通じているのです。

ひよつとすると今の自分のすべての核が、あの高校時代の多感な自分自身ではないかと思えるのです。ならば若い人たちは、青春時代をおおいに多感に生きることで私たちもそれをもつと人生に生かしたいのです。

校舎に郷愁をもたれる方、新しく聳える校舎に母校の発展を感じず方、岡高卒のはらからとして、共に思いを抱かることと存じます。

私は理科の教員で、岡高在職中は生物科を担当していました。校庭のサザンカの花粉時には、オバ

アチャン池の藻を使って授業をしたことを思い出します。矢張り岡

高の伝統は人にのみ限らず、一本草が教えてくれ、励げましてくれたことを感謝しています。



「25周年作品展」会場にて

平成4年度(第一回)

首都圏段戸会報告

平成4年度の首都圏段戸会は、昨年と同様、東京郵便貯金会館五階瑞雲の間に開催されました。

十一月七日(土)午後三時から、昨日は折から台風二十八号が首都圏を直撃するというあいにくの天候で、午後になつて雨だけは止んでくれましたが、風の強い日となり参加者の出足が心配されました。それでも結果として一二二名の出席という大盛況となりました。

今年は第二十回目の記念総会といたことで、特に次の点をポイントとして総会運営を行われました。

科目	収入の部	支出の部
前期繰越金	1,393,935	
運営基会費等	488,240	
合計	1,039,424	
総会経費等	1,364,756	
印刷費	218,231	
通信費	93,000	
次期繰越金	1,245,612	
合計	2,921,599	2,921,599

段戸会出席者

平成4年度

(高3回)	森川早川桂武	木村中堀正章	宇津野隼千	水谷哲夫	木村豊	木村	荻野康雄	太田登久	太田賢八郎	近藤駒	宮崎恒三	梅田修平	小林弘	梅村生	野本恒雄	関場一恵	伊藤英雄	深津坂夫	(中40回)	(中37回)	(中38回)	(中39回)	(中41回)	(中42回)	(中43回)	(中44回)	(中45回)	(中46回)	(中47回)	(中48回)	(中49回)	(中50回)	(中51回)	(高1回)	(高2回)	(高3回)									
平松敏男	丹羽高木次	高木久保雅之	佐藤成瀬英俊	佐藤重樹	佐藤成瀬英俊	佐藤重樹	森洋一	森秀夫	森秀夫	中根洋一	中根洋一	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫	柳澤春夫																			
(高12回)	鵜飼道孝	梅村豊子	青木かゑ子	市川晃三	安原敦子	藤井宏子	坂道哲	林中村弘道	林太田弘道	西村直人	三島元	松本滿紀子	齊藤悦子	河井毅	荻原孝	片岡宣子	高井美智子	柳澤玖枝	高井美智子	柳澤玖枝	高井美智子	柳澤玖枝	(高4回)																						
倉橋弘	上田紀美江	中根淳	香村時良	高木治子	齊藤聖子	齊藤聖子	高木治子	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	高橋道人	(高5回)												
(高28回)	(高27回)	(高20回)	(高19回)	(高18回)	(高17回)	(高16回)	(高15回)	(高14回)	(高13回)	(高12回)	(高11回)	(第9回)	(第8回)	(第7回)	(第6回)	(高3回)	(高1回)	(高3回)	管野則彦	成瀬徹	星野陽一	天野彰	太田真澄	笹瀬孝修	平岩	上田實	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市								
岡田隆	岡田池田一三	神尾由恵	村木央明	豊田キミイ	南郷健治	伊予田鉱人	伊予田鉱人	原田敏久	阿知波直樹	阿知波直樹	原田敏久	大館眞弓	都築典郎	矢野道明	長田正純	阿部完二	成瀬徹	管野則彦	管野則彦	星野陽一	天野彰	太田真澄	笹瀬孝修	平岩	岩本昭夫	岩本昭夫	岩本昭夫	岩本昭夫	岩本昭夫	岩本昭夫	岩本昭夫	(高14回)													
齊木令子	齊木令子	南郷孝彦	横井昭弘	横井昭弘	横井昭弘	横井昭弘	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	吉川則之	(高15回)											
(高31回)	(高20回)	(高17回)	(高16回)	(高15回)	(高14回)	(高13回)	(高12回)	(高11回)	(高10回)	(高9回)	(高8回)	(高7回)	(高6回)	(高5回)	(高4回)	(高3回)	(高1回)	(高3回)	管野則彦	成瀬徹	星野陽一	天野彰	太田真澄	笹瀬孝修	平岩	上田實	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市	上田興市								
志村浩	志村浩	志村浩	齊木令子	齊木令子	齊木令子	齊木令子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	水谷鏡子	(高16回)										

ご出席をいただきました。
二つめは、故郷岡崎の近況を伝えるビデオの放映です。素晴らしい中央総合公園はじめとする、スポーツと文化の拠点としての岡崎の発展ぶりを見ることができます。

三つめは、参加者全員に記念カードを贈呈したことになりました。なつかしい旧校舎をあしらつたもので、記念品として後日まで残ると、参加者に喜ばれました。

さて、総会は稻葉会長の心温まるご挨拶のあと、畠部同窓会会长から

めとし、抜群の進学実績であり、国立、私立以外の高校では、全国でもトップの成績であるとのことで、参加者は今までにも増して、母校への誇りを新たにしました。

頭で乾杯し、賑やかな宴の始まりとなりました。特に今年は、お招きした先生方が多かつたこともありました。

こうして歓談も盛り上がり上がったところ、参加者全員で校歌を合唱しました。今年も岡崎から駆けつけてくれた応援部OB平岩孝氏(高14回)のリードにより、若々しい歌声が広間一杯に満ち、楽しい同窓会の一日を終しました。

(高12回 成瀬徹記)

お手伝い下さい

お手伝い下さい

にご協力いただける方は、ぜひご協力いただけます。岡崎市東京事務所内、首都圏段事として会の運営にたずさわって頂いておりますが、まつたくのボランティア活動にもかかわらず、熱心に参画している姿には頭がさがります。

幹事は、各回最低一名は居るのですが、ご覧のようないい人がおりません。

高18回以降の方で、会の運営にご協力いただける方は、ぜひお願い申し上げます。

電話 ○三四三三七二一一

首都圏段戸会幹事